

## 平成 30 年度第 2 回高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議 ・高知県 I C N ネットワークの会の要旨

日 時：平成 31 年 2 月 9 日（土）10：30～11：35

場 所：高知県庁 2 階 第 2 応接室

出席者：ネットワーク委員 9 名、I C N メンバー 12 名

### 会長・副会長選任

会長は北村委員、副会長は有瀬委員に決定する。

### 議 事

#### (1) 高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク事業平成 30 年度実績及び平成 31 年度事業計画について

事務局より、資料に沿って説明があった。

<委員からの質問・意見等>

① Q：(委員) 災害時対策については、発災後の対応か。発災前の、例えば避難所の運営や設営内部での物品の備蓄にもある程度コミットしておかなければ、避難所から支援が要請される時に物品がないと何もできない。その部分について意見を述べる場所はあるか。

→ A：(事務局) 議事での説明は、災害時だけではなく平常時からの備えという考え方。各福祉保健所単位で支部会議が行われているので、そこでご提案やご意見をいただければ、対応ができると考えている。

A：(委員) 避難所運営マニュアルに盛り込みがないと各支部の対応がばらばらになると思う。県として避難所に「今こういうものを備蓄しなければならない」といった形を取ってもらう方が良いと思う。

A：(委員) 平常時からの感染管理に関する物品の整理について、災害時医療救護計画の見直しの時に盛り込んでもらえるようお願いしたい。

A：(事務局) 避難所運営マニュアルは、危機管理部が所管しているので、危機管理部と調整しながら対応したい。

#### (2) エリアネットワーク活動について

<報告>

##### ①安芸エリア（安芸福祉保健所）

・安芸地域院内感染対策における合同カンファレンスは、あき総合病院の主催で、その時期に応じたトピックスについて情報提供及び共有している。今年度も年 4 回、麻疹、細菌検査と抗菌薬、H I V、インフルエンザについて取り上げた。

・安芸エリアにおける第 1 回院内感染対策研修会はあき総合病院主催の公開研修で、9 月 21 日（金）に開催した。講義と、手指衛生を怠ることによってどのように院内感染が拡大するかの動画、手洗いチェッカーを用いた実技等、感染対策でも簡便で有効性のある手指衛生がいかに重要であるかの説

明があった。

- ・安芸福祉保健所主催の研修会は、12月7日（金）に開催し、あき総合病院の川野上ICNにご講演いただき、33名が参加した。内容は、前年度の研修会アンケートで施設で困っていることとして挙げられたノロウイルス対策及び排泄物の処理についての講演と実技を行った。
  - ・アンケート結果では、「日頃の手技の振り返りができた」、「自施設での院内研修の講義でも活用、伝達したい」、「他の施設との意見交換ができた」、「分かりやすかった」等の意見があった。今後のテーマとしては、結核感染対策やインフルエンザ、感染症のアウトブレイク時の対応等が挙げられた。
  - ・次年度以降についても、川野上ICNと研修内容を協議し、より顔の見える関係づくりとして多くの医療機関に参加してもらい、地域全体が院内感染に対応できる関係性を深めていきたい。
- <エリアメンバーからの意見等>

- ・診療報酬等の関係もありカンファレンスも一緒に組んでいる。テーマはその時期のトピックスを取り入れている。保健所も参加しているので顔の見える関係ができ、何かあったときには、相談者とICNと保健所が一体となり対策を講じている状況で、すごくうまく感染対策ができていると思う。今後も継続して取組みたい。

### ②中央東エリア（中央東福祉保健所）

- ・検討会では、平成30年度のエリアネットワーク活動について、保健所と高知大学医学部附属病院の感染管理部で検討した。また、研修会については、今年度も基本的な標準予防策を中心に実施することとした。
- ・平成30年度中央東エリア研修会は、当初2回開催を予定していたが、今年度は台風の影響で2回ともに中止となり、結果的には12月9日（日）の1回のみ開催した。内容は、「全ての医療者が知っておくべき標準予防策の実際」と題した研修会で、グループワークを行った。参加者は59名であった。
- ・アンケート結果では、内容について「非常に良かった」、「良かった」とほとんどの参加者から回答があった。特に、「グループワークでの他の人の意見を聞いて良かった」、「言われて気付くことや思い違いがあることに気付けたのが良かった」等の意見があった。
- ・現在、医療機関同士での相互に支援する体制づくりとして、各医療機関の医療関連感染対策の窓口者の連絡先を収集中で、現時点では参加45施設のうち25施設の情報に保健所に集約されているところである。

### ③高知市エリア（高知市保健所）

- ・検討会は、3回開催を予定している。開催済みの2回は、主に研修会の実施について準備検討した。研修会では、「外来で必要な感染対策について」、「ノロウイルスについて」の講演、寸劇「吐物処理の仕方」、その後グループワークで意見交換を行った。
- ・講演内容についてアンケート結果は、96.3%の方が、「とても参考になった」と回答し、非常に高い評価を得ている。また、65%が伝達講習予定と回答した。
- ・本日2月9日（土）の午後、高知県、高知市、本ネットワーク会議のご協力をいただき高知葉

剤耐性（AMR）対策セミナーを開催する。セミナーの講師は、AMR臨床リファレンスセンターの具先生、パネルディスカッションでは、座長は北村先生、また有瀬先生、八木先生からもご報告をいただく。ぜひご参加いただき、ご意見やアドバイスをいただきたい。

<エリアメンバーからの意見等>

- ・内容の組立が大変今回難しく、何度も高知市ICNのメンバーと相談をしながら作り上げた。大変さはあったが、好評という結果をいただいて良かったと思う。また、グループワークでは、施設からたくさん意見が出たので、色々なことを持ち帰りいただけたのではないかと思う。

#### ④中央西エリア（中央西福祉保健所）

- ・中央西エリアでは、須崎福祉保健所と合同で8月30日（木）に国立病院機構高知病院にて、今年度の研修会について検討し、11月3日（土）に中央西エリア講習会を開催した。内容は、「耐性菌－最近の話題－」、「適切な个人防护具の着脱」、「百日咳の流行と対策を中心に－今年流行している麻疹や風疹についても」と題して講演いただいた。時間の関係上、実技の時間があまりとれなかった。全体の参加者としては39名、着脱の訓練については3名だった。

<エリアメンバーからの意見等>

- ・中央西エリア・須崎エリアで、それぞれの日程で実施した。内容が盛りだくさんになり、どちらも个人防护服の着脱はタイトな時間になってしまった。次年度は、その辺りは要検討と思ってるが、内容はとても分かりやすい内容で良かったと思う。

#### ⑤須崎エリア（須崎福祉保健所）

- ・須崎エリアは、10月30日（火）に講習会を実施した。内容は中央西エリアと同じだが、着脱訓練の時間があまり取れなかったため、次年度の課題にしたい。

<エリアメンバーからの意見等>

- ・実技の个人防护服の着脱に時間が割けなかった部分が心残りなので、次年度の計画で、岩原先生、河村さんと一緒に考えていきたいと思う。

#### ⑥幡多エリア（委員）

- ・12月に打合せのうえ、1月31日（木）に医療関連感染管理研修会を行った。「手をきれいにすることから始める感染対策」と題して、近隣の施設等の職員を中心に講義をした。講義は岡本ICNが行い、その後、吐物処理やおむつ交換、グリッターバッグを用いた手指衛生の実技講習を行った。
- ・アンケート結果からは、研修内容は分かっていたようで、内容は適切という評価をいただいた。また、次年度はどの方々をターゲットにして、どのような研修会を行うかについて、今後、幡多福祉保健所と検討したい。
- ・メーリングリストの運用については、現在19施設が登録している。今年度、初めての試みとして衛生研究所から出ている週報（高知県感染症発生動向調査）を用いて、インフルエンザの注意報や警報が出た段階で、メーリングリストを幡多けんみん病院から流し、幡多地域全体で一律に面会制限を試行している。それぞれの病院で面会制限しにくさがあったり、面会制限した

時に対応が難しいことがあったが、幡多全体で取組んでいることを伝えると取組みやすくなるのではないかという意見が合同カンファレンスで出たので取組み始めた。

・合同カンファレンスは加算の関係で4回実施しているが、ぜひ福祉保健所にも出席してほしい。

### (3) 高知県医療関連感染対策相談対応事業について

事務局より、資料に沿って説明があった。

### (4) 医療関連感染対策Q&Aについて

事務局より、資料に沿って説明があった。

### (5) 高知県医療関連感染対策研修会について

事務局より、資料に沿って説明があった。

<委員からの質問・意見等>

① (委員) 今すぐの提案は難しいと思うので、後日、事務局まで提案いただくことでよいか。2月の日本環境感染学会に参加される方も多いと思うので、高知県にお呼びしたい先生をピックアップしていただいて、メーリングリストで適切な人を挙げてもらい、その中から選ぶ方向でいいか。

⇒異議なし

② (事務局) メーリングリストを活用して、改めて事務局から相談させてもらう。

- 平成31年度高知県医療関連感染対策研修会は、メーリングリストで適切な講師を検討する。
- 研修会の実施内容等は今後検討する。